

令和 6 年 新年のごあいさつ

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行されたことから、経済活動も徐々に活性化してまいりました。町では4年ぶりの明和まつりや体育祭等を何とか取り行うことが出来ました。いずれも以前とは違った形での開催となりましたが、町民の皆様と交流ができたことを大変嬉しく感じました。

また、誘致活動に5年掛かりました「コストコホールセールジャパン群馬明和倉庫店」が昨年4月にオープンいたしました。お陰様で、多くの方々が足を運んでくださり、明和町に賑わいが生まれた年となりました。



【連日多くの皆様が訪れるコストコホールセールジャパン群馬明和倉庫店】

令和6年の明和町は、次の事業を行いまちづくりを進めてまいります。

まず、昨春着工した川俣駅西口のペDESTリアンデッキ（高架歩道）を今年春までに一部完成させて、駅を利用している企業の皆様がバス停留所まで雨に濡れずに移動できるよう屋根付きの回廊を完成させます。これは国庫補助事業で行うものです。

次に、川俣駅前温泉が初期の温度より上昇して44℃となり、かけ流し温泉の設置も夢ではなくなりました。明和町として町民の皆様にとどのように利用していただけるか、検討してまいりたいと思います。

3つ目は、川俣駅南側踏切を令和5年度中に道路工事を完成させ、令和6年度は踏切工事を行う予定です。長い年月ボトルネック（停滞）となっていた危険な踏切が、いよいよ解消されるかと思うと待ちどおしいです。

4つ目は、東部工業団地も工場建設が始まってまいります。たくさんの企業のかたに関心を持っていただいておりますので、すべての区画の契約発表ができると思います。

5つ目は、6月にアドバンテスト南の約19.8ヘクタールが市街化編入され工業団地になる予定です。ここは既に進出企業が決まっており、急ピッチでの開発造成になります。

このように、明和町は常に挑戦をし続けております。民間企業と官民連携で事業を行い、国庫補助事業を絡ませて、高齢化進展に対応できる財政を確保し、試行錯誤を重ねながら、この町で全てが賄えるオールインワンの町を作っております。

2016年1月、川俣駅が橋上化し、駅東口が誕生いたしました。2021年10月、その駅東口に官民連携事業による医療複合施設「明和メディカルセンタービル」が開業いたしました。町の保健センターと医療機関との連携を強化することで、子どもからお年寄りまで幅広い世代の医療ニーズに対応できるようになりました。また、建物の一部を3階建てとし、災害時避難施設も確保しました。

今年も民間企業と協力し、駅西口に温泉付きビジネスホテルの建築を行ってまいります。移住・定住先として選ばれる町を目指して、さらなる発展を続けてまいります。

2024年は辰年です。辰年は、陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年だといわれています。また、十二支の中で唯一空想上の生き物で、権力や隆盛の象徴であることから、出世や権力に大きく関わる年といわれています。



2024年といえば、国内で20年ぶりに新デザインの紙幣が発行予定です。これも転機の一つになりそうですね。

新一万円札



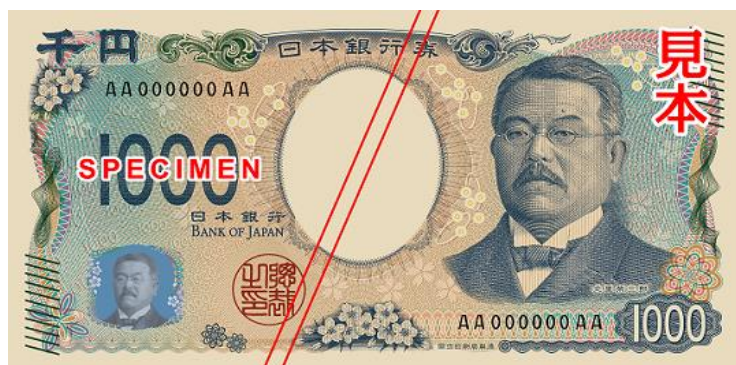
生涯において500もの企業設立などにかかわり、“日本近代社会の創造者”と言われる渋沢栄一が肖像に選ばれた一万円札。

新五千円札



生涯を通じて、女性の地位向上と女子教育に尽力した教育家である津田梅子が肖像に選ばれた五千円札。

新千円札



破傷風を予防・治療する方法を開発した微生物学者で、“近代日本医学の父”と呼ばれている北里柴三郎を肖像に採用した千円札。

私は、これまで常に大きな目標を持って精進してまいりました。
なかなか成果に出せない事もありましたが、それでもくじけずに努力を続ければ水面下で着実に育ち、何事も次につながると信じて前に進んでおります。

今年も、町民の皆様からのご意見を参考にしながら全力で取り組んでまいりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとりまして、そして本町にとりましても素晴らしい収穫の1年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和6年1月吉日

明和町長 富塚もとすけ